

事業番号	11 07 06	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	都市公園事業費			担当課	部局	建設部	
					課・局・室	都市・まちづくり課	
					E-mail	toshi-machi@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	プロジェクト			実施期間	H20 ~		
	施策の総合的展開	4-1	地域防災力の向上				
		5	災害に強い建物・道路等の整備				
		5-2	快適で暮らしやすいまちづくり				
		3	ゆとりある住環境の形成				
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	5-3	賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり				
	施策展開	4-(1)	確かな暮らしを支える地域構造の構築 (イ) 既存資産のマネジメント強化				

1 事業の概要

目指す姿	既存公園施設を健全な状態に改修・改善を行うことにより、住民福祉の増進に寄与する。 また、一部の都市公園は地域防災計画で避難施設・避難地として指定されていることから、避難地等としての防災機能の向上を図る。	
現状（予算編成時）	「長野県公園施設長寿命化計画（平成25年度策定）」に基づき、点検及び更新等に係るコストの縮減や平準化を図りつつ、公園施設の安全性の確保と機能の保全を図っている。 改築・更新の実施に当たっては、国庫補助採択基準に合致する一定規模以上の公園は、国の交付金等を活用していく。	
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 都市公園法第2条の3、第12条の2
	県民との協働による実施：実施は困難	

成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）						
	長野県公園施設長寿命化計画に基づき、緊急性などを考慮し、公園施設の改築・更新工事を実施する。 （設定目標：緊急度の高い施設の長寿命化対策実施率 H28目標 70%（実施数/必要数））						
	② 事業内容 （単位：千円）						
	項目	実施方法	H28事業実績		H28		H29
				(当初)	(決算)	(当初)	
	改修工事	直接	<ul style="list-style-type: none"> 松本平広域公園 アルウイントイレ新設 烏川溪谷緑地 園路等木製施設更新 南信州広域公園 ステージ電機設備設置 飯田運動公園 野球場スコアボード更新 若里公園 管理棟等屋根改修 風越公園 駐車場整備 	441,000	622,414	1,155,000	
			合計	441,000	622,414	1,155,000	

事業コスト	区分（単位：千円）	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況					
	前年度繰越	394,578	452,725	154,131	項目	H26末	H27末	H28		H29目標
	当初予算	670,950	441,000	1,155,000				目標	成果	
	補正予算	-56,700	-117,180	0	長寿命化対策実施箇所数	-	18箇所	-	-	-
	合計(A)	1,008,828	776,545	1,309,131	長寿命化対策実施率（緊急度の高い施設）	-	-	70.0%	70%	達成
	Aの財源	一般財源	55,037	24,983	63,064					
		県債	464,000	371,000	619,000					
		国庫支出金	489,791	380,562	627,067					
		その他	0	0	0					
	決算額(B)	556,103	622,414							
概算人員費	職員数(人)	11.96	11.96	11.96						
概算人員費(C)	-	-	-							
概算事業費(B(A)+C)	556,103	622,414	1,309,131							

目標に対する成果の状況	6公園の施設の改修・改善工事等を実施し、目標とした緊急度の高い施設の長寿命化対策実施率70%を達成できた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	公園施設長寿命化計画に基づき、計画的な公園施設の修繕、改築を行い、公園施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る。